

事務所を使用する権原に関する書面

注 更新・新規を問わずこの書面は記入してください。新規の場合のみ併せて賃貸借契約書又は建物登記簿謄本等を添付してください。

項	所有者	事務所の所有者が申請者と異なる場合				
		契約相手	契約日	契約期間	契約形態	用途
・主たる事務所の名称は、「本店」と記入してください。 (事務所名) 本店 (所在地) 福岡市東区箱崎1丁目18番1号(箱崎1801番)	株式会社 粕屋ビルディング	株式会社 粕屋ビルディング	令和6年5月31日	令和6年6月1日～令和11年5月31日(自動更新)	賃貸借	事務所
(事務所名) (所在地)	・本店以外の事務所(従たる事務所)があれば記入してください。 ・事務所名は、店舗の名称を記入してください。				・契約書に自動更新条項があれば、(自動更新)と記入してください。	
(事務所名) (所在地)	事務所の移転・新設の際は併せて以下の書類を添付してください。 ・借りている場合は契約書(賃貸借・使用貸借) ・所有している場合は建物登記事項証明書(全部事項証明) ・事務所を借りていて、その契約が所有者と直接交わしているものではない場合は、次の①～③の書面の写しをすべて添付(契約相手が所有者の代理人の場合で、代理人であることが②の契約書により明らかに判る場合には②の契約書のみで可。) ①所有者と契約相手との契約書(使用貸借・賃貸借契約書、管理委託契約書等) ②契約相手と免許申請者との契約書 ③所有者が、契約相手と免許申請者との契約(②の契約)を承諾していることがわかる書面 ・居住用マンション等、事務所用ではない建物の場合は、事務所使用ができることを定めた建物管理規約等の写し、または建物の所有者あるいは管理者(管理組合)の事務所として使用できる旨の承諾書 ・自宅の一部を事務所として使用する場合には、平面図及び「当該事務所部分を事務所として専用使用し居住用には使用しない」旨の誓約書					
(事務所名) (所在地)	上記の記載内容について、事実と相違ないことを誓約します。 令和7年4月1日 商号又は名称 福岡県不動産株式会社 氏名 代表取締役 福岡 太郎					

備考

- 「所有者」の欄は、事務所の所有者の氏名又は法人名(法人の代表者名を含む。)を記入すること。
- 「事務所の所有者が申請者と異なる場合」の欄は、事務所の所有者が免許申請者と異なる場合にのみ次により記入すること。
 - 「契約形態」の欄は、賃貸借又は使用貸借の別を記入すること。
 - 「用途」の欄は、登記事項証明書、建物賃貸借契約書又は建物使用貸借契約書等に記載された用途(住居、事務所等)について記入すること。
 - 「契約相手」の欄は、申請者が賃貸借契約等を締結している契約の相手方を記入してください。
 - 所在地の記載は表紙及び第三面等と同一ですが、それが住居表示ならば土地表示を()書きで併記してください。住居表示の定めのない市町村では、土地表示のみを記入してください。

【任意様式の文例】 あくまで一例であり、文言は実態に応じて変更してください。

他者（代表者個人など）が所有する物件を無償で借りて事務所とする場合の承諾書（物件所有者が作成）

使用承諾書

私が所有する下記物件（の一部）を、以下の使用者が宅地建物取引業を営む事務所として使用することを承諾いたします。

物件名 <<物件名>>

使用者 <<申請者名>>

使用期間 令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日 自動更新：あり（なし）

日付 <<物件所有者名>> 押印

他者（代表者個人など）が借りている物件を転貸されて事務所とする場合の承諾書（物件所有者が作成）

転貸承諾書

<<転貸人名>>に賃貸している<<物件名>>（の一部）について、<<申請者名>>に宅地建物取引業の事務所として利用する目的で転貸することを承諾いたします。

日付 <<物件所有者名>> 押印

代表・役員・従業員の住宅の一部を使用する場合の誓約書（申請者が作成）

申立書

当該一室は事務所としてのみ使用し、居住用としては使用いたしません。

※”当該一室”は実態に応じて書き換えること（例：東側の一区画、2Fの洋室15㎡相当部分、など）

日付 <<申請者名>> 代表者名 押印

居住専用マンション、居住兼用マンションを事務所として使用する場合において、事務所としての使用を認めた管理規約、使用細則等が無い場合の使用承諾（承認）書（申請者が作成し、管理組合等の承諾を得るもの）

使用承諾（承認）書

下記物件（の一部）を<<申請者名>>が宅地建物取引業を営む事務所として使用することを承諾（承認）いたしません（認めます）。

物件名 <<物件名>>

日付
住所
<<物件の管理組合名>> 代表者名 押印
